



歴史に残る困難を乗り越え、豊かな人材育成への支援を

教育後援会 会長 森島 研次



会員の皆様には、平素より教育後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、通常の総会開催ができず役員会において、書面での決議となりましたが、昨年度

会員の皆様には、平素より教育後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、通常の総会開催ができず役員会において、書面での決議となりましたが、昨年度

に引き続き会長として皆様と共に、学生と大学の支援をさせて頂くこととなりました。今、何ができるのか悩む日々ではございますが、大学と一体となって学生支援に努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度末からの新型コロナウイルスの感染拡大により生活は一変しました。大学の授業も長期の遠隔授業・自宅学習等を余儀なくされ、教員の皆様も、学生も慣れない環境

の中で授業の推進は大変なご苦労であると感じ申し上げます。学生の皆さんも大きな節目となる儀式や楽しみであろう行事や活動も制限される中、今できることを精一杯頑張っていると感じています。歴史に残る困難な時だからこそ将来を見据え、夢に向かって自分を磨き続けて下さい。教育後援会は、学生の皆さんの夢を応援しています。

また、保護者の皆様と大学の連携を図り交流を深めるため、本学・高松市・和歌山市・那覇市にて、開催しておりました教育後援会も残念ですが中止させていただきました。教育後援会は、大学と連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄与することを目的に平成17年に設立され、以来、保護者の皆様と大学との架け橋となり、将来を担う人材育成の一翼を担うべく活動を推進して参りました。今年度も、在学生の進路への支援、福利厚生への支援、自然災害時の緊急支援に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による影響も含めた家計急変時の奨学金給付金等の事業を行っております。会員の皆様におかれましては、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

コロナに向き合い、教育・学修を遂行

関西福祉科学大学 学長 八田 武志



新型コロナウイルスの蔓延により、保護者の皆様を招いての入学式は挙行できず、口惜しいことでした。4月8日に緊急事態宣言が発出されましたが、幸いなことにオリエンテーションを前日までに終えてお

り、保護者の皆様を招いての入学式は挙行できず、口惜しいことでした。4月8日に緊急事態宣言が発出されましたが、幸いなことにオリエンテーションを前日までに終えてお

り、全員にIDを付与できたことで、Manabaなどインターネットを介しての遠隔授業となりましたが、学年暦を予定通りに始めることができました。

遠隔授業は学生・教員共に変な負担をかけることになりました。保護者におかれましても、宣言に基づく自粛で多大の影響があったこととお見舞い申し上げます。本学では、経済的困難に陥る学生に、政府の施策、後援会の協力を含

む学園独自の支援策を設けてきめ細かく対応し、経済的理由での学業断念を防ぐ手立てを講じました。学生をキャンパスに招いての対面授業は6月1日から5週間実施できました。五感を通じての対面授業が

教育活動の基本と考え、文科省等と協議しながら、感染対策を行い、ラッシュアワーを避けての登校、3密を避けるための教室変更、座席指定などの工夫による対面授業で、新入生もキャンパスの雰囲気や講義、ゼミ

新型コロナウイルスの感染拡大が終息しない状況が続いておりますが本学は、対面授業を基本軸に据え、遠隔授業を混えながら秋学期を実施しています。

学生、教職員の安全・健康を第一に考えながら、計画通りの教育効果を上げる工夫を実直に継続する所存です。保護者の皆様の一層のご支援をお願い致します。

関西福祉科学大学教育後援会 令和2年度事業計画

今年度の総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、役員会においての書面会議とさせていただきます。6月下旬に各議案の承認事項についての報告書をお送りいたしました。報告後、承認いただきました予算案に基づき事業計画に沿って実施しております。

1. 学生の学業および課外活動への助成

(1) 表彰事業

- ① 学業優秀者表彰
- ② 学術文化・スポーツ活動奨励賞
- ③ 社会貢献活動表彰等

(2) クラブ・サークル等強化・育成事業

(3) 学友会活動の助成・支援事業

(4) 図書館事業に係る助成

(5) 海外研修制度の助成

2. 学生の進路指導への助成

(1) 資格取得に向けた学習活動への助成

(2) キャリア形成に係る自己啓発への助成事業

(3) 就職活動に係る支援事業

3. 学生の福利厚生を支援するための事業

(1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成

(2) 学生総合保険の内容充実支援

(3) 学生の健康管理助成

(4) 施設・備品等の充実助成

(5) 新型コロナウイルス感染症対策として特別費用を計上

4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業

(1) 家計急変による生活困窮学生への奨学金制度

(2) 新型コロナウイルスによる家計急変対策として特別費用を計上

(3) 災害救助法適用地域の学生支援制度

5. 本学と会員相互の連携を図る事業

(1) 教育後援会総会の開催

(2) 教育懇談会の開催（本学及び地方にて開催）

(3) 教育後援会広報誌の発行

(4) ホームページの内容充実

6. その他本学が必要と認めた事業

(1) 地域社会連携事業への支援及び助成

(2) 教員の学術・教育研究及び職員の研修に係る助成

(3) 同窓会との相互連携に係る事業

関西福祉科学大学教育後援会 令和2年度事業予算

〔自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日〕

〔収入の部〕

(単位:円)

	予算額	摘要
繰越金	46,865,836	
年会費	51,000,000	@20,000円×2,550名
賛助会員会費	300,000	
雑収入	0	
合計	98,165,836	



〔支出の部〕

(単位:円)

事業科目		予算額	摘要	
項目	項目詳細			
事業費	助成事業	課外活動助成費	3,500,000	公式試合参加登録費・交通費・練習会場使用料・用具等
			3,900,000	リーダーズキャンプ・大学祭・卒業記念パーティー等
	福利厚生助成費	奨励助成	800,000	成績最優秀者、卒業論文・研究優秀者等
		保健管理	250,000	医療機器等
		学生病気・災害支援	400,000	学生傷病給付、災害支援
		学生災害保険支援	970,000	学生教育研究賠償責任保険加入
		学生啓発支援	500,000	学生啓発セミナー・ハンドブック等
	学習・教育活動助成費	資格取得支援	18,270,000	各種国家試験対策等
		教育研究助成	1,300,000	職員研修等
		図書館事業助成	1,090,000	図書寄贈、図書紹介文コンテスト、利用ガイド等
	就職支援助成費		15,661,000	就職準備・公務員・教員採用試験対策、就職ハンドブック等
	国際交流助成費	海外研修(留学)助成	425,000	海外研修(留学)助成、引率者海外旅行保険
	施設備品充実助成費		4,000,000	学生ホール緑化、施設・備品拡充 コロナ対策
	事業	総会開催費	1,600,000	総会開催費用(通信費・印刷代・講師料等)
広報誌発行費		800,000	保護者向け広報誌「感恩のこころ」、ホームページ	
教育懇談会実施費		2,300,000	教育懇談会(本学・地方)開催助成	
奨学金事業		4,000,000	奨学金給付 コロナ対策	
卒業・入学記念費		2,232,000	卒業記念品代(卒業アルバム)	
運営費	役員会運営費	150,000	役員会・運営委員会開催費用、交通費等	
	人件費	500,000	事務代行費	
	印刷(製本費)	300,000	封筒代等	
	通信費	100,000	郵送代等	
	備品費	600,000	証書ファイル等	
	雑費	150,000	慶弔費、各種振込手数料等	
引当積立金	記念事業積立金	1,000,000	記念事業積立金	
予備費		500,000		
小計		65,298,000		
次年度繰越金		32,867,836		
合計		98,165,836		

社会福祉学科

輪タク・プロジェクトで

柏原市の高齢者福祉に貢献します

社会福祉学科の学生を中心とした福祉科大オレンジプロジェクト(旧名・バリデーションプロジェクト)が学園から認められた地域連携公認プログラムで、発足して6年以上が経ちます。認知症高齢者やその家族を対象とした様々な地域活動をしています。今回は、学生が発案した自転車タクシー送迎プロジェクト(通称・輪タク・プロジェクト)を紹介します。

認知症の人とその家族が気軽に立ち寄り、地域の人たちとのつながりを作ること、を目的とした認知症カフェを学生が主体となり、継続的に開催しています。そのような中、心身機能の低下によって、認知症カフェに行くことを諦めている高齢者の存在を知り、「自転車」という学生にとって身近な乗り物を使って、認知症カフェまで送迎しよう!と決意しました。送迎ができる車両を探したところ、後部に二人乗車が可能なベロタクシーとい



う三輪電動アシスト自転車を発見し、先日取り扱っている事業所へ見学に行ってみました。自動車よりも街並みをゆつくりと眺めながら移動でき、外出の楽しみに繋がるのではないかと考えています。ベロタクシー車両購入の資金調達のため、10月上旬よりクラウドファンディングを開始する予定です。学生にとっては地域課題に取り組みながら、たくさんの方との繋がりを実感できる貴重な機会となっています。

心理科学科

心理科学とウィズ・コロナ戦略

心理科学部 学部長 山田 富美雄

心理学は、人が環境に適應できるように行動を変容するプロセスやルールを探索する学問分野です。時には人の行動様式を変えるよう仕掛けて、幸福へと導く役目を果たしているのです。

さて今般の「新型コロナウイルス」は、人々に大きな行動の変容を課しました。感染拡大を防ぐための「自粛行動」は、瞬間に国民の間に浸透しました。心理科学部生も然り。

私は常々、同級生と仲良く、他学部生とコミュニケーションをとり、イベントには積極的に参加し、いつでも教員の部屋をノックしなさいと言いつけてきました。学生には人との密接な交流を奨め導いていたわけです。

それが4月以降、コロナ禍の遠隔授業導入が決まります。学生は自宅でパソコンに向かい、スマホの画面に写る教師との交流だけとなりました。他者と直接交流は2メートル離れて、マスクかけてとなりました。それまでと180度違う行動への変容が求められたのです。

悪いことばかりではありません。LINE世代の若者は、Zoomを使っ

てリモート懇親会で盛り上がる術を身につけました。就活に使われ始めたリモート面接にも対応します。ただ問題は、リモートによる面接場面のドレスコードには無知で、敬語の使いかたは未熟です。教員は今こそ、ポスト・コロナ時代のウィズ・コロナ社会に適應する教育指針を作らなくてはならなくなっているのです。



感染拡大予防に配慮した授業の風景。座席間の空間を充分にとって開講。

健康科学科

オンラインでの採用試験対策・就職活動支援を実施しています

健康科学科では従来からゼミ(AA)での面談や履修指導を通じて学生の進路相談やアドバイスを積極的に実施して参りました。今年度は新型コロナウイルスの影響によってオンラインによる遠隔授業の実施など、新たな大学生活をむかえることとなりました。この



ような大学構内での対面指導が制限される中であっても学生の就職サポートを十分にできるように、健康科学科では遠隔での進路指導・相談の実施に積極的に取り組んでいます。

養護教諭を希望する学生には、各都道府県で養護教諭として活躍している同窓生に採用試験対策のひとつとして遠隔での指導を実施してもらっています。また、教員もZoom等のツールを用いて個別面接指導を行っています。写真は面接指導の様子です。また、一般企業・施設・病院などを希望する学生には、本学のeラーニングシステム(manaba)を用いて学科教員が自己分析やエントリーシートの添削、アドバイスを個別に行い、希望する学生には遠隔での面接指導や進路相談を実施できる体制も整備しています。

採用試験、就職活動で学生それぞれが持てる力を発揮するための丁寧なサポートを学科教員全員で引き続き取り組んで参ります。

福祉栄養学科

感染拡大にも負けません。管理栄養士国家試験合格を目指して!!

新型コロナウイルス感染拡大は日常を一変させました。当たり前だった教室での授業はパソコンによるリモートの講義に変わりました。キャンパスでの友達との会話、カフェテリアでのランチといった日常風景は今となっては愛おしくも思えます。

このような状況でも、変えようのないことがあります。「管理栄養士国家試験合格」、これは福祉栄養学科の4年にとっては、待ったなしの目標なのです。例年は、学内での模擬試験や対策講座などを通して、学生を支援してきましたが、今年はいままでのように

はいきません。この困難な状況ではありますが、様々な新しい取り組みにより対面で授業を受けられない4年生を支援しています。情報通信技術(ICT)



リモート解説の現場

を活用した、リモートによる模擬試験は8月末までに6回に上ります。模擬試験解説もリモートで行いました。さらに、リモートで解答できる課題も定期的に出してきました。模擬試験や課題の成績は集計して、アカデミックアドバイザーによるきめ細やかな指導に活用しています。

第35回管理栄養士国家試験の受験日は、令和3年2月28日に決まりました。その日まで教職員が一体となって、困難な状況に立ち向かう4年生を精一杯応援しています。

リハビリテーション学科

就職説明会をライブ配信型で

開催致しました

本学部では、臨床教育に対する量・

質両面の充実と学内教育の充実を図るため、実習施設である近隣の病院等と「特定研修施設制度」という契約を交わしています。例年8月に、特定研修施設の就職説明会を実施しております。今年度は新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るっており、そのため、合計140名の学生が在籍しているリハビリテーション学科では例年通りの就職説明会が困難な状況でした。しかし、このような状況下だからこそ、学生の就職をしっかりと支援するため、Microsoft Teamsを用いたライブ配信型の就職説明会を開催することとしました。教員は、初めて就職説明会をライブ配信型で開催するため、事前にTeamsの使用に関する確認作業や、施設担当者との打ち合わせを手探りで行ってきまし



本学から配信している施設担当者の様子



特定研修施設先から配信している施設担当者の様子

た。説明会では、学生が自宅のパソコンで施設からのライブ配信を視聴することができ、そして、学生は説明を聞くだけではなく、施設担当者や直接会話をすることもでき、積極的に質問をしていました。今回、多くの特定研修施設にご参加頂き、今年度の就職説明会を大きなトラブル無く終えることができました。今後、大変有意義な就職説明会になったと思います。今後も学生が希望する病院・施設へ就職できるように、全力を尽くしていきたいと思っています。

教育学科

手作りマスクをつくらう

今回紹介するのは、発達支援教育専攻の野田文子教授が実施した「手作りマスク」を作成する授業です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための遠隔授業期間中に、2年生を対象にした小学校の家庭科の授業で行われました。これまで家庭科の授業では、フェルトを使った小物などを製作していましたが、今回は時世を反映した課題になりました。学生の自宅に材料を郵送し、インターネット上で作り方の指導をされる等、遠隔授業ならではの取り組みが行われていました。学生たちは、完

成した手作りマスクを写真で撮影して提出します。一人一人の個性が出る手作りマスクは、学生たちにも新鮮な課題だったのでないでしょうか。手作りマスクは小学校教師に必要な手縫い技術がすべて含まれた教材です。小学校の家庭科を指導する基本的な技術が身につくだけでなく、一度作成方法を覚えてしまえば日常生活で生かすこともできます。まさに、大学の学びが日々の生活にも生きる実践的な内容になっていると言えるでしょう。



令和元年度 就職状況について

令和元年度卒業生の就職状況につきましてご報告致します。

大学全体の就職率（就職希望者に占める就職者の割合）は96.8%となりました。

学科別では、社会福祉学科 94.9%、心理科学科（臨床心理学科含む）94.4%、健康科学科 98.5%、福祉栄養学科 100.0%、リハビリテーション学科 99.0%、教育学科 95.7%となっております。令和元年度も多く卒業生が、学科での学びを活かすことのできる就職先に就くことができました。

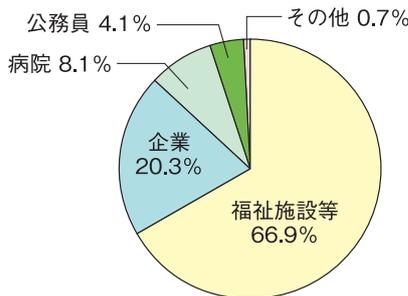
また、卒業生全体に占める就職者の割合は、全国平均が76.5%（※1）なのに対し89.5%と13ポイントも上回っており、本学の就職率の強さが表れる結果となっております。

※1)文部科学省大学等卒業生の就職状況調査(令和2年6月12日)より

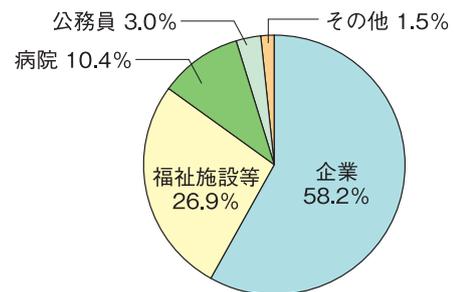
	大学全体	社会福祉学科	心理科学科 (臨床心理学科含む)	健康科学科	福祉栄養学科	リハビリテーション学科	教育学科
卒業生数	574	164	93	71	72	102	72
就職希望者数	531	156	71	67	72	96	69
就職者数	514	148	67	66	72	95	66
就職率	96.8%	94.9%	94.4%	98.5%	100.0%	99.0%	95.7%
進学者数	16	2	10	2	0	0	2

就職決定者の業種内訳

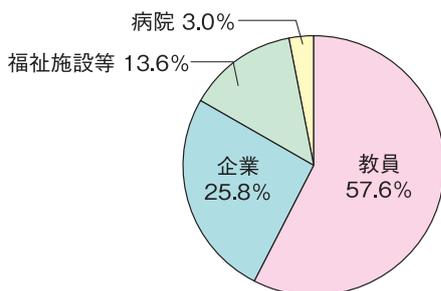
社会福祉学科



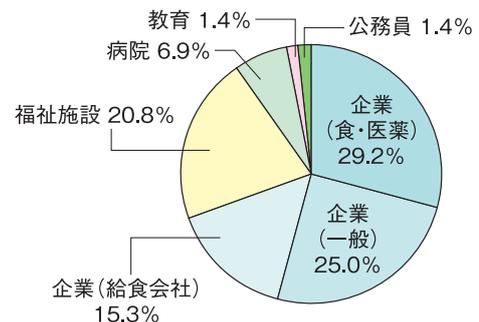
心理科学科 (臨床心理学科含む)



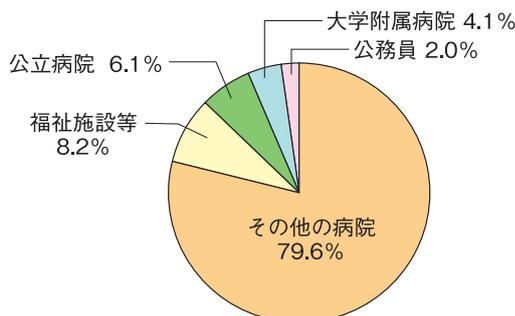
健康科学科



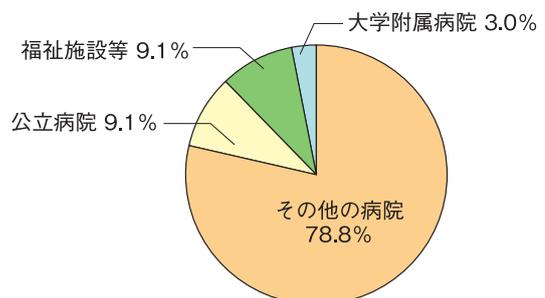
福祉栄養学科



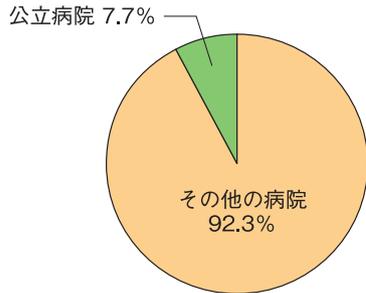
リハビリテーション学科(理学療法学専攻)



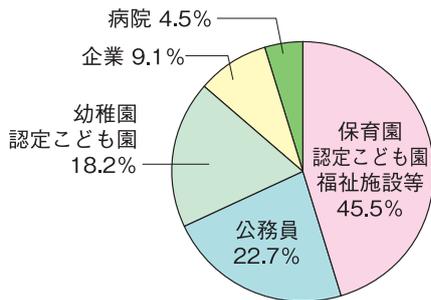
リハビリテーション学科(作業療法学専攻)



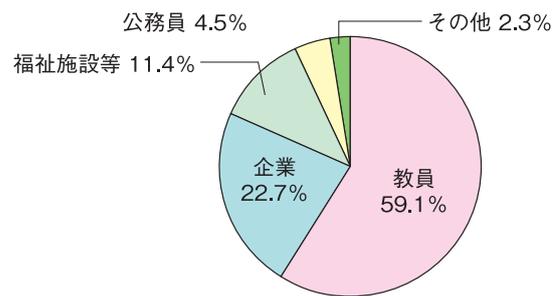
リハビリテーション学科(言語聴覚学専攻)



教育学科(子ども教育専攻)



教育学科(発達支援教育専攻)



国家試験合格状況

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験

(R2. 2.1・2 実施)

社会福祉士	74名合格(全国192大学中9位)
精神保健福祉士	13名合格(全国85大学中28位)

管理栄養士国家試験

(R2.3.1 実施)

	受験者	合格者	合格率
本学	45名	45名	100.0%
全国	15,943名	9,874名	61.9%

理学療法士国家試験

(R2.2.23・25 実施)

	受験者	合格者	合格率
本学	53名	50名	94.3%
全国 (うち新卒)	12,283名 (10,749名)	10,608名 (10,019名)	86.4% (93.2%)

作業療法士国家試験

(R2.2.23・25 実施)

	受験者	合格者	合格率
本学	39名	39名	100.0%
全国 (うち新卒)	6,352名 (4,795名)	5,548名 (4,515名)	87.3% (94.2%)

言語聴覚士国家試験

(R2.2.15 実施)

	受験者	合格者	合格率
本学	22名	14名	63.6%
全国	2,486名	1,626名	65.4%



学生向け公報誌「福科大通信」がデジタルになりました!

例年、保護者様には感恩のこころと一緒に送らせていただいております「福科大通信」が23号(2020年4月発行)からデジタル配信になりました。

紙媒体の広報誌からデジタル媒体の広報誌へと移行したため、今回は準備が追いつかず、ご案内できておりませんが、いずれは保護者様にもご覧いただけるよう配信方法を検討中ですので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

学園2号館1F事務センター横に 就職支援コーナーがオープンしました

就職に関わる各種資料が取り揃えられた「就職資料スペース」と資料を閲覧したり各種相談、休憩などができる「就職支援スペース」の2つのスペースで構成されています。

「就職資料スペース」では今まで構内数カ所に分散していた求人票、就職関連図書やその他関連資料が1カ所の資料コーナーとしてまとめられ、利便性向上が図られています。

「就職支援スペース」では就職相談などを行う相談室がガラス張りのオープンな雰囲気のある部屋など4部屋設置されました。白く明るい壁紙が使用された作りとなっており、今後増えると思われるWEB面接などでも使用する事ができるようになっています。合わせてオープンスペースに机が設置され、資料などをゆっくり閲覧したり、休憩したりする事ができるようになっています。将来的にはコピー機も設置される予定です。

コロナ禍の下、先行きがあまり明るいとは言えない就職環境ですが、今まで以上にこのコーナーを拠点として学生の皆さんの就職サポートを行っていきます。就活ではもちろん、ちょっとした自習などにも利用できますので、ぜひ一度足を運んでいただきたいと思います。



就職資料スペース



就職支援スペース(相談室)



就職支援スペース(オープンスペース)

感恩のこころ

第16号 令和2年11月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会
編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1
TEL 072(978)0088 FAX 072(978)0377